



創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー

うきは果樹の村 やまんどん

Q. 創業からの歴史と現在の事業内容を教えてください

祖父の代から、ブドウと梨を中心に戸栽培し、国道210号沿いの直売店で販売を行っています。当時、販売は好調でしたが、私が事業を引き継いだ頃、台風の影響などで経営が困難になつたことがありました。その時、当時の浮羽町（現うきは市）が「グリーン・ツーリズム」の話を持ってきてくれました。「グリーン・ツーリズム」は、通称「農村滞在型余暇活動」と呼ばれ、「都会の人は休みの日に農村に遊びにおいて」という活動です。

私はこの活動に魅力を感じ、年間を通してお客様に来てもらえるように、農作業の一部を体験でき、四季の移り変わりまで楽しんでもらえるような観光農園事業を始めました。現在は6次産業にも力を入れており、果樹園の隣に「夢語寄家（むごよか）」というカフェを経営しています。

Q. 御社の特徴や強みを教えてください

一年を通してフルーツ狩りが楽しめるところが他の果樹園にはない特徴です。最近では家族連れやカップル、外国の方までたくさんの方が来られます。「やまんどん」のフルーツは、うきはのお

Q. 創業からの歴史と現在の事業内容を教えてください

直接お客様の意見を聞くことができた時にやりがいを感じます。今まで誰がどんな風にどこで食べているのかわからなかつたのですが、この事業（6次産業）を始めてからわかるようになつきました。「よかつた」と言われる時もあれば、悪かつたところを教えてくれることもあります。

Q. どんな時に仕事のやりがいを感じますか

直接お客様の意見を聞くことができた時にやりがいを感じます。今まで誰がどんな風にどこで食べているのかわからなかつたのですが、この事業（6次産業）を始めてからわかるようになつきました。「よかつた」と言われる時もあれば、悪かつたところを教えてくれることもあります。

Q. どんな時に仕事のやりがいを感じますか

農業は思い通りにならないものです。どんなに頑張っても自然との闘いになつてしまします。台風が来て、せっかく育てた実が落ちてしまうこともあります。しかし、辞めようと思ったことは一度もありません。しかし、辞めようと思ったことは一度もありません。20歳から農業を始めて、一生果物を作つたとしても50回程しか作ることができません。その中で一回でも完璧だと思える年があれば満足です。

Q. どんな時に仕事のやりがいを感じますか

農業は思い通りにならないものです。どんなに頑張っても自然との闘いになつてしまします。台風が来て、せっかく育てた実が落ちてしまうことがあります。しかし、辞めようと思ったことは一度もありません。しかし、辞めようと思ったことは一度もありません。20歳から農業を始めて、一生果物を作つたとしても50回程しか作ることができません。その中で一回でも完璧だと思える年があれば満足です。

Q. 今の学生に伝えたいことはありますか

おそらく学生の将来の進路選択の中に農業は入っていないだろうと思います。しかし、やってみると意外と面白いものです。これからは農家としてではなく、経営者として農業を考えてほしいです。農家=かっこ悪い、儲からないではなく、「農業経営者」という視点で新しい事業を開拓していくことを考えていただきたいと思っています。

Q. うきは市の方に何か伝えたいことはありますか

一人一人の力は微力ですが、みんなで一つになつたらうきは市はなんでもやれると思っていました。うきは市の魅力を充分に伝えるために、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。

会社名 うきは果樹の村 やまんどん
所在地 うきは市浮羽町山北2212-7
電話 0943-77-4174
FAX 0943-77-1174
HP <http://www.yamandon.com>

この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし

検索

うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。今年度は、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■トップインタービュー ■



うきは果樹の村
やまんどん
代表
末次 研治さん

緑に囲まれた土地においしい水とフルーツがたくさん実ついてとても新鮮な感じがしました。フルーツ狩りだけにとどまらず、どれたての果物を使った50種類以上のケーキが食べられるカフェが隣接しており、自然を堪能できる素敵なところでした。
(森田)

フルーツ狩りというとワンシーズン限定のところが多いイメージだったのですが、一年中楽しめるところに大変魅力を感じました。梨と葡萄を頂きましたが、梨がとても気に入りました。スーパーで買う梨とは格段に違いました。とても甘くて酸味がなく、水さじ1たらめ食べやすく、美味しいただくことができました。

(池田)

「やまんどん」に来ている家族連れの中で、小さな子どもが笑顔で楽しそうにしている姿がとても印象に残りました。隣接のカフェ「夢語寄家（むごよか）」では地域の野菜を使ったメニューが豊富で、ボリュームもあり、味も大満足でした。季節によって様々なフルーツが楽しめるので、今度は友人などまた訪ねたいです。(江越)

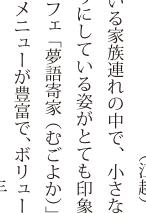
「やまんどん」に来ている家族連れの中で、小さな子どもが笑顔で楽ししそうにしている姿がとても印象に残りました。隣接のカフェ「夢語寄家（むごよか）」では地域の野菜を使ったメニューが豊富で、ボリュームもあり、味も大満足でした。季節によって様々なフルーツが楽しめるので、今度は友人などまた訪ねたいです。(江越)



久留米大学2年
越江 謙香



久留米大学2年
池田 航



久留米大学2年
森田 絵里加

★取材を終えて★